

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 428 事業名 経済動向調査分析事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		商工費
	項		商工費
	目		商工総務費
	大事業		商工総務事業
事項		経済動向調査分析事業	

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	1	地域産業の振興
施策	1	企業が成長できる環境づくり
取組	5	企業の経営基盤強化への支援

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	産業企画課	溝本 功(435-1040)	
関連課	全部局		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容					
和歌山市内の景況・経済実態を迅速かつ正確に把握できるように情報収集を行い、各課に配布するとともに、各行政施策を企画立案するための基礎資料として提供するもの。	1 和歌山市景況動向調査（委託先：財団法人 和歌山社会経済研究所） （1）調査概要 和歌山市社会経済研究所がアンケート方式で実施している景気動向調査から市内企業の回答を抽出し判断指数としてB S I（ビジネス・サーベイ・インデックス）を用いて分析を行う。年4回作成 （2）調査項目 景況・業況・売上・収益・仕入価格・販売価格の動向・資金繰り・雇用などを調査 2 和歌山市景気動向調査 （1）調査概要 様々な経済指標をもとに、本市経済の状況を把握するために作成する。 （2）調査項目 景気動向指数、鉱工業生産指数、住宅新設着工戸数、新車登録販売台数、公共工事請負額、消費者物価指数、企業倒産件数、大型小売店販売額、家計消費支出（総消費性向）時間平均値					
実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	和歌山市景況動向調査報告書及び和歌山市経済動向調査報告書を作成し、和歌山市経済振興対策会議構成員及び、関係各課に通知を行い、行政施策推進の参考資料として有効活用を図る。	和歌山市景況動向調査報告書及び和歌山市経済動向調査報告書を作成し、和歌山市経済振興対策会議構成員及び、関係各課に通知を行い、行政施策推進の参考資料として有効活用を図る。	和歌山市景況動向調査報告書及び和歌山市経済動向調査報告書を作成し、和歌山市経済振興対策会議構成員及び、関係各課に通知を行い、行政施策推進の参考資料として有効活用を図る。	和歌山市景況動向調査報告書及び和歌山市経済動向調査報告書を作成し、和歌山市経済振興対策会議構成員及び、関係各課に通知を行い、行政施策推進の参考資料として有効活用を図る。	和歌山市景況動向調査報告書及び和歌山市経済動向調査報告書を作成し、和歌山市経済振興対策会議構成員及び、関係各課に通知を行い、行政施策推進の参考資料として有効活用を図る。	和歌山市景況動向調査報告書及び和歌山市経済動向調査報告書を作成し、和歌山市経済振興対策会議構成員及び、関係各課に通知を行い、行政施策推進の参考資料として有効活用を図る。
	わかやまし産業ファイルを作成し、市民・関係機関・視察者へのPR・情報提供とともに、職員の施策の参考とする。	わかやまし産業ファイルを作成し、市民・関係機関・視察者へのPR・情報提供とともに、職員の施策の参考とする。	わかやまし産業ファイルを作成し、市民・関係機関・視察者へのPR・情報提供とともに、職員の施策の参考とする。	わかやまし産業ファイルを作成し、市民・関係機関・視察者へのPR・情報提供とともに、職員の施策の参考とする。	わかやまし産業ファイルを作成し、市民・関係機関・視察者へのPR・情報提供とともに、職員の施策の参考とする。	わかやまし産業ファイルを作成し、市民・関係機関・視察者へのPR・情報提供とともに、職員の施策の参考とする。
			事業所アンケートの実施			
					企業との意見交換を行い、現状・課題の把握を行い情報の共有を行う。	

2 事業コスト

事業費 千円	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	756	756	870	870	1,486	820	1,175		870	
	伸び率 (%)	-	-	15.1%		70.8%		-20.9%		-26.0%	
	人件費	常勤職員	4,286	2,565	2,565	2,494	2,494	4,710	2,494		2,494
		非常勤職員	0	0	0	0	0	670	0		0
	小計	4,286	2,565	2,565	2,494	2,494	2,494	2,494		2,494	
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
その他											
一般財源(税等)	756	756	870	870	1,486	820	1,175		870		
所要人数	常勤職員	0.56	0.33	0.33	0.33	0.33	0.62	0.33		0.33	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0.32	0		0	

3 目標及び実績

指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
活動指標	景況動向調査報告書の作成			年度目標値	4	4	4	4	4
				実績値	4	4	4	4	
	単位	回		年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	和歌山市経済動向調査報告書の作成			年度目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4		
			年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	景況動向調査報告書の通知回数			年度目標値	4	4	4	4	4
				実績値	4	4	4	4	
	単位	回		年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	和歌山市経済動向調査報告書の通知回数			年度目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4		
			年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	和歌山市景況動向調査、和歌山市経済動向調査いずれも、迅速に作成、配布をすることで各行政施策を企画立案するための基礎資料として有効に活用できる。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が 「B」評価の場合のみ	